

9月議会 総括質問 (加藤 一 議員)

国保は増税で黒字化、減税すべき 市長これ以上一般会計からの繰り入れしない

鶴岡市議会9月定例会が8月30日開会しました。同日行われた総括質問で、日本共産党の加藤一議員は、①災害対策、②国民健康保険、③介護保険、④慶應先端研支援の見直しについて、市当局の対応を質しました。

住宅浸水被害、復旧支援対策は



市長 河川改修では県に対する重要要望事業や庄内地区合同要望会として首長を先頭に要望活動をしている。流下能力の維持向上を図るために、支障木の撤去や堆積土砂除去作業については、県単独事業要望として、平成25年7月の豪雨の被害箇所を優先して実施してもらっているが、対策箇所が多く、なかなか進まないのが現状である。

新業の負担増を国保加入者に負わせるな

問 さらにも床上浸水した場合の事後対策で、住居の洗浄や消毒、廃材が大量に出た場合の処理など、住居復旧支援

この度の災害では県の管理する河川に課題が多かったことから、応急対応と恒久対策について県に改めて強く要望していく。

市長 国保は30年度から県が中心的な役割を担い、住民に身近な市は、資格管理、保険給付、税率の決定、税の賦課徴収、保健事業などを担う。

問 8月22～23日の台風9号による大雨被害で、藤島地域で床上・床下浸水が発生した。大雨被害では河川の浚渫や支障木伐採、護岸の嵩上げなどの対策が求められるが、県に対する対策要望の進捗状況はどうか。

問 28年度は国保税が19・38%もの増税が強行され、さらに課税限度額が3年連続4万円引き上げされ89万円になり、国保会計は赤字から2億円の黒字に転換する見通しだ。

問 28年度は国保税が19・38%もの増税が強行され、さらに課税限度額が3年連続4万円引き上げされ89万円になり、国保会計は赤字から2億円の黒字に転換する見通しだ。

財政運営では市が県に納付金を納入し、県は市に医療給付の全額を交付する。

貧困化とのたたかい

26日(金)27日(土)の両日、渡辺ゆり子県議・和泉圭造県議団事務局員と、議員研修会「貧困の連鎖を断ち切るために富山で生活保護を考える」に参加してきました。



ベストセラーとなった「下流老人」著者の藤田孝典氏の講演「なぜいま下流老人なのか」、朝日新聞記者の中塚久美子氏の講演「自治体に求められる子どもの貧困対策」などを聴講。2日目は分科会「子どもの学びを自治体でどう支えるか」に出席しました。

レス「下流中年」「下流老人」「大貧困時代」。近年の話題図書に示される国民全体の貧困化が、自公政治によってもたらされていることが詳細に明らかにされました。

問 県に納付金を100%納めるためには、国保税の収納率が低ければどう対処するか。

問 県に納付金を100%納めるためには、国保税の収納率が低ければどう対処するか。

問 27年度の決算では、国保会計は3億2378万円の赤字となったが、その要因は、高額なC型肝炎新薬の影響が大きい。

問 国保加入者の生活実態を直視し、負担可能な国保税に減税すべきではないか。

(1面のつづき)
市長 納付金額に対し市の収納額が不足すれば、財源対策として市の基金から繰り入れ、次に県の財政安定化基

金からの借入を想定している。
今後財政見通しの悪化となれば国保税の増税を検討することになる。

介護保険給付から外されるサービスどうなる

問 介護では、「要支援1、2」のヘルパー・デイサービス保険給付外し、特別養護老人ホーム入所を「要介護3」以上に限定。介護報酬も過去最大規模の引き下げと改悪が目白押しとなった。

サービス提供の確保は必要だが、保険料等を活用した事業であることから、事業効果と安定したサービス提供体制が必要であると考えている。

「住民主体の支援サービス」では、参加者10人のうち要支援者や生活機能の低下した人が

慶應先端研補助金見直すべき

検討経過の中で、市民から疑問や提案が出されてきたこと、例えば、地域支援事業Bの「住民主体の支援サービス」で、週3回2時間以上、介護予防体操を実施するなどハードルが高いことや、全ての高齢者が利用可能な一般介護予防事業の詳細はどうか。

市長 市民からの意見に対しては、多様なサ

問 市は28年度から合併特例措置の段階的廃止となり、交付税の一本算定では27年度の計算で約30億円、28年度の計算では約23億4千万円の減額となる。
慶應先端生命研究所に対して、もはやこれまでのような毎年3億5千万円の支援は可能な段階を迎える。
慶應先端研に対する

半数を占めればよいとした。

回数については、参加者の曜日選択が狭まらないよう週3回を下回らないとした。

一般介護予防事業は要介護や要支援の有無に関わらず誰でも参加できるもので、特に介護予防に対する動機付け、習慣化に結びつけるため重要な事業だ。

既存の事業を一般介護予防事業に組み入れるなどメニューや基準を検討中で、詳細はもうしばらく時間をいただきたい。

支援は、研究の環境を整えるなど通常の自治体支援の枠に戻し、特別の補助金については見直すべきでは。

市長 慶應先端研の研究教育活動は、国の競争的資金、企業からの共同研究資金、大学の内部資金などの収入で構成されるが、県と市の補助金はその収入構造の基盤を支える重要な位置づけにあり、引き続き支援を継続する

ことは必要不可欠だ。先端研の外部資金は市の補助額を大きく上回り、地域への環流効果を生み出している。

現在は支援を見直す段階ではなく、むしろより高度な研究活動が展開されるよう力強く

支援を継続していくべきと認識している。

第53回しんぶん赤旗囲碁将棋 鶴岡地区大会を開催

8月28日、第53回しんぶん赤旗囲碁将棋鶴岡地区大会が鶴岡市勤労者会館で開催され、熱戦が繰り広げられました。

将棋A級戦と囲碁名人戦の3位までの各氏は、10月に開催される県大会に出場します。

関徹県議が主催者を代表しあいさつ、菅井巖市議が賞状と記念品



主催者あいさつをする関徹県議(左端)

- 【将棋】
A級戦
優勝 佐藤 智三段
準優勝 五十嵐豊旗
第3位 佐藤 修初段
B級戦
優勝 田中一芳初段
準優勝 丹下英一初段
第3位 本間悠理二段

- 【囲碁】
名人戦
優勝 佐藤重美六段
準優勝 鈴木 宏六段
第3位 神林陸夫五段
一般戦
優勝 齋藤侑二五段
準優勝 齋藤喜兵衛
第3位 小泉義三三段

共産党市議団、「子ども医療費無料化」など意見書2件提案

8月30日開会した鶴岡市議会9月定例会に、日本共産党市議団は「子ども医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめることを求める意見書」と「介護保険の次期制度改正に向けた検討についての意見書」の2件を提案しました。

また、福島原発被災者フォーラムから提出された「福島原発事故避難者への住宅無償提供に関する請願の紹介議員になりました。意見書は会派間の調整が行われます。請願は市民文教常任委員会(8日午前10時開会)で審査されます。

水道課入札結果 () 内は予定価格
8月26日入札分
・ 包括的業務委託受託準備室・業者休憩室改良工事(上下水道部庁舎作業棟内)(入札3業者)
中野興建(有) 2,900,000円 (3,050,000円)
工期~10/31 (落札率95.1%)

都市計画課入札結果 () 内は予定価格
8月25日入札分
・ 本町二丁目広場(仮称)整備工事(入札11業者うち1業者辞退)
(株)誠朋建設 23,750,000円 (24,863,000円)
工期~29/3/10 (落札率95.5%)

管理課入札結果 () 内は予定価格
8月25日入札分
・ 市立豊浦小学校体育館外壁改修工事(入札4業者うち1業者辞退)
(株)鈴木工務店 3,550,000円 (3,580,000円)
工期~10/17 (落札率99.2%)
・ 市立大泉小学校駐車場舗装整備工事(入札6業者)
佐藤建設(株) 3,600,000円 (3,630,000円)
工期~11/4 (落札率99.2%)

建築課入札結果 () 内は予定価格
8月25日入札分
・ 市駅前再開発ビル駐車場(パークビル)改修(II期)工事(入札15業者うち2業者辞退)
鶴岡建設(株) 54,800,000円 (55,290,000円)
工期~29/3/24 (落札率99.1%)